

ネットパトロールだより

平成26年6月4日

相模原市立総合学習センター

<学習情報班>



スマートフォン人気が高まっています ～ネットトラブルから子どもたちを守りましょう～

携帯電話やスマートフォンの利用実態調査が実施され、その結果が発表されました（デジタルアーツ 2014年3月）。未成年者（10歳～18歳）のスマートフォン所有率は60.4%と、半年で10%も上昇しています。小学生（4年生以上）は37.9%、中学生は55.3%となり、所有率が高くなっていることが明らかになりました。高校生は87.9%であることを考えると、今後も小・中学生のスマートフォン所有率が増加していくことが予想されます。またこの調査では、未成年者全体の23.9%が「使い過ぎ」と注意を受けた経験があったり、「止めたくても止められず、苦しい思いをしたことがある」と答えた未成年者が、21.5%いたり、スマートフォン使用を始めてから、子どもたちの生活に変化が見られてきていることも明らかになりました。スマートフォンに関する相談件数も年々増加しています。そこで今回は、子どもたちのスマートフォン使用の現状と、相模原市での情報モラルへの取り組みを紹介します。子どもも、保護者も、学校も、ともに情報モラルについて考えていきましょう。

スマートフォンの利用に関する相談件数

PIO-NET（全国消費生活情報ネットワーク・システム）より

スマートフォンを利用したデジタルコンテンツに関する相談件数（※）

年度	2010	2011	2012	2013
相談件数（件）	98	5,725	20,824	39,508

※「デジタルコンテンツ」に区分されるもののうち、スマートフォンが関連していると判断ができたもので、スマートフォンを利用した有料サイトからの料金請求などに関する相談件数

子どもたちにとってのスマートフォンとは

スマートフォンの所有率から見て、主要なインターネット機器が、携帯電話からスマートフォンへと変わってきています。

子どもたちのインターネット利用について考える研究会
「保護者のためのインターネットセーフティーガイド」
「第5期報告書」より

子どもたちの基本的な利用スタイル

- 友だちとの連絡手段は通話よりメール
携帯やスマホは通話のための端末ではない
- インターネットやメールは携帯やスマホから
「自分専用」のパーソナル性の高い機器をよく利用
- 隙間時間にブログやSNSを閲覧、更新
友達と「常につながりたい」欲求が高い傾向に

子どもたちの使い方は発信型・参加型
（受信型・閲覧型の大人とは正反対）

保護者のためのインターネットセーフティーガイドより

子どもたちの欲求とサービスの特徴

- | | |
|---|--|
|  子どもたちの欲求 |  サービスの特徴 |
| 暇つぶしをしたい | ゲーム性が高い |
| 友だちの多さを自慢したい | 未知の友だちと交流できる |
| 異性への興味関心が高い | 異性と交流できる |
| 背伸びをして度胸を示したい | 危険な香りがする |
| 自由になるお金が欲しい | 無料である、仮想通貨を稼げる |

保護者のためのインターネットセーフティーガイドより

左の図より、子どもたちの欲求が、スマートフォン使用で満たされる場合が数多く見られます。また、パソコン等と比べても操作が簡単であり、大人の目が届かない場所でも楽しみやすいことで、不適切な発信を自制する機会を失いやすいのではないかと指摘されています。さらに長時間利用にもつながりやすくなっています。これらのことから、子どもたちは、発信・参加による精神的な疲弊が考えられます。

「利用実態から見た、トラブル内容の変化」(第5期報告書より)

○「ネット依存」(長時間利用傾向)の広がり

先月でも取り上げた「ネット依存」は、その裾野を急速に広げています。これは、個人所有の機器によるネットの「娯楽的利用」の機会が増えていることが一因です。

○対人関係トラブルの急増

中高生では、学級単位や部活動単位でメッセージングアプリを利用することが、一般化しつつあり、メッセージングアプリのような「閉鎖された空間」内での同級生間のトラブルに直面する機会も増えています。LINE等のグループ機能がいじめ行為に使われ、オンラインでの行き違いが自殺や殺人事件のような深刻な事態につながった事例も見られます。

※同報告書では、他にも不適切投稿による「炎上」事案、コミュニティーサイト（非出会い系サイト）での性犯罪被害も取り上げて紹介しています。

子どもたちに、正しい使い方を伝えていく必要があります

各学校では① 「情報モラルハンドブック」の活用 (2012年～)



情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方や態度を身につけることを目標に作られた冊子です。道徳の授業で扱う「心をたがやすページ」と学級指導等で扱う「知識を身につけるページ」で構成し、それぞれのページが互いを補えるようになっています。相模原市の子どもたちは、**9年間で継続的・系統的に**情報モラルの授業を受けることができます。

情報モラルハンドブック 相模原プラン 心をたがやすページ 年間計画表 (一部抜粋)

	小学校低学年		小学校中学年		小学校高学年	
	1年	2年	3年	4年	5年	6年
心をたがやすテーマ	約束や決まりを守る①	生活の中でのルールやマナーを知る②	相手のことを考え、自分の発言に責任を持つ①	自分や他人の権利を知り、尊重する①	知り得た情報が正しいかを判断する③	情報の正確さを判断し、さらに必要な情報を選択する③
主題名・内容項目	約束や決まりを守り、みんなが使う物を大切にしよう 4-(1)	人の作品を大切にしよう 2-(2)	文字だけで伝える難しさ 2-(2)	他人の権利を尊重しよう 4-(1)	自律的で責任のある行動 1-(3)	情報の信ぴょう性 1-(3)
教材名: コンテンツサバゲージ「授業パッケージ」の動画名	C-08 ルールやマナーを守る「コンピュータを使う時の約束を守ろう」	C-09 人の作品を大切にしよう「友だちの作品に落書きをしないぞ」	B-01 文字だけで伝える楽しさや難しさ「このことばで相手に気持ちが伝わるかな?」	C-02 著作権の概念を知る「クラスのマーク“ピーチくん”」	B-05 ネット上での情報が広がる仕組み「情報の広がりについて考えよう」	A-13 情報の信憑性「インターネットには間違った情報も存在する」

・道徳の年間計画にも位置づけて、心をたがやす授業が行えます。
・テーマに合わせた動画を、各教室の大型 TV に映し出して、授業を行うことができます。

各学校では② 学習ソフトの活用 (事例で学ぶ Netモラル 広島県教科用図書販売株式会社)

各学級で取り組むことのできる、情報モラル用学習ソフトが導入されています。相模原市では、「**事例で学ぶNetモラル**」<http://www.hirokyou.co.jp/netmoral/>」が導入されています。PC室などで、子どもたちが疑似体験やドリル、シミュレーション体験を行うことができ、付属するワークシートを用いて自分の考えをまとめ、情報モラルについて話し合う授業を行っています。



各テーマについて考えていけるように、疑似体験に合わせたワークシートを活用するようになっています。

学習情報班では、学校や保護者をサポートしていきます!!

- ・PTA や学校向けの出張講座を行っています。 http://www.sugamihara-kng.ed.jp/syougaiakensaku/machikado/machikado_top.htm
○相模原市生涯学習まちかど講座 (PTA、地域の方向け) 「情報モラルとマナーについて」
- ・先生方への出張研修を行っています。
○訪問サポート研修 (教職員向け) 「情報モラル研修」、「情報セキュリティ研修」、「ICT 機器活用授業づくり研修」
- ・学校への DVD 教材の貸出を行っています。
○ちょっと待って、ケータイ 1,2 (子ども、保護者向け)
○ネット世界の歩き方 (小学生向け)



まちかど講座、訪問サポート研修ともが始まっています。お申し込みをお待ちしています。

今月のネットパトロール状況

学校裏サイト

(4/25 現在: 522 サイト、前月比-79)

問題のあるプロフィールサイト (プロフ)

(4/25 現在: 916 サイト、前月比-1562)

件数の大幅な減少については、卒業生を調査対象外とした事によるものです。入学や進級に合わせて携帯電話等を購入し、新規で開始している使用者が増加してきていることが、Twitter 等を調査したことで分かりました。新しいプロフに不適切な書き込みがないか等、引き続きパトロールを行っています。

●パスワード・会員登録が必要なサイト数	193件	●パスワード・会員登録が必要なサイト数	810件
●個人情報が掲載されているサイト数	20件	●個人情報が掲載されているサイト数	340件
●誹謗中傷が書き込まれているサイト数	3件	●誹謗中傷が書き込まれているサイト数	6件
●不適切な内容の書き込みがあるサイト数	34件	●不適切な内容の書き込みがあるサイト数	68件

●保護者向けの研修会に講師として指導主事を派遣しています。

●学校裏サイトに関する相談も随時受け付けています。

連絡先: 相模原市立総合学習センター学習情報班 Tel 042-754-2577